

ステアリングユニット

重要

この度は、ステアリングユニットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂きたく、宜しくお願い致します。

交換作業時のご注意

- 重量物の為、取り扱いには十分ご注意ください。
- 事故、水没車、ピットマンアームを外す際に付いたと思われる打痕がある場合は（本体、セクターシャフト、IN、OUTのガスケットの当たり面等）別途部品代が発生する場合があります。
- 各部ボルトの締付けはメーカーの指定トルクをご確認下さい。

■リザーブタンク内の汚れゴミ等を清掃し、**図1**
新オイルを給油して下さい。フィルターを
使用している車両は交換して下さい。

(図1参照)

■IN、OUT側のガスケットは同梱の新品をご使用下さい。

■本体取付後、エンジンは始動せずエア
抜き作業を行って下さい。

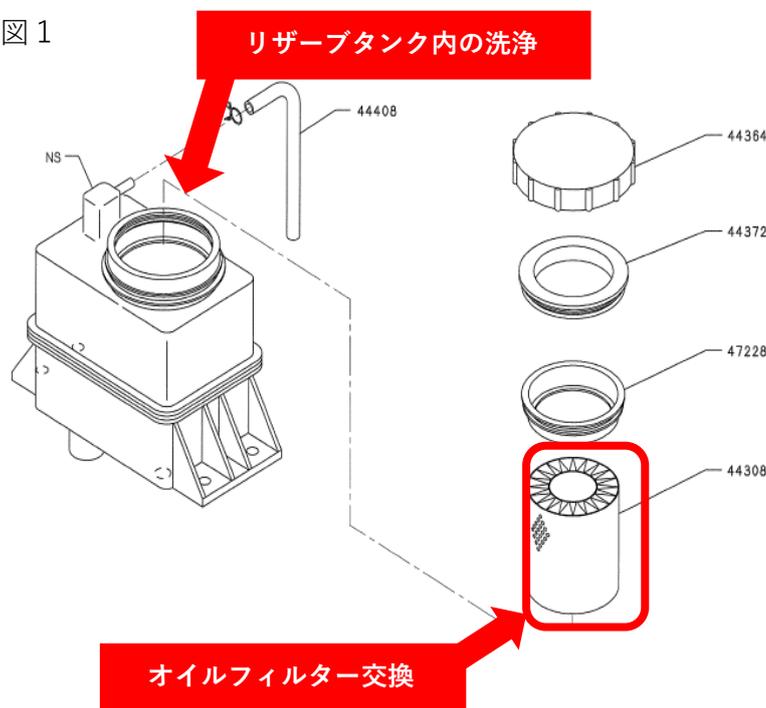
■リザーブタンクにオイルを補給し、前輪をジャッキアップ状態でリザーブタンクの気泡がなくなるまで左右いっばいにハンドルを切り返して下さい。

■油面が降下したら都度オイルを補給し、その後、エンジンを始動しエア抜き作業を行って下さい。

■アイドル状態でハンドルを左右いっばいに切り返した後、前輪を下ろし、ハンドル操作し異音がないことを確認して下さい。異音が出る場合は繰り返しエア抜き作業を行って下さい。

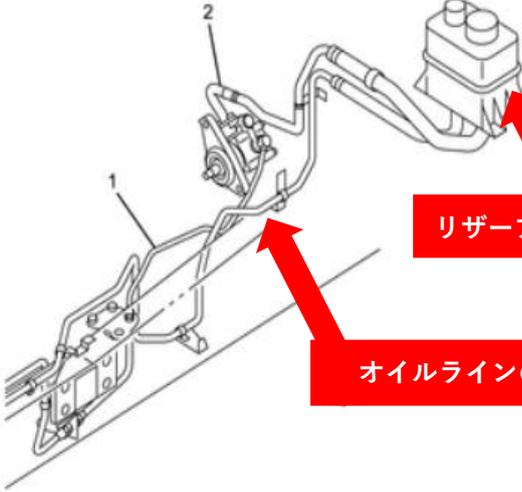
■最後にリザーブタンクのオイル量を規定量にして下さい。

※特にバスはオイルラインが長い為、エア抜きに時間が掛かる場合があります。



トラブルシューティング

作業完了後、よくあるトラブル事例を記載致しました。もし、以下のような現象が発生した場合は、お手数ですが、もう一度ご確認の程宜しくお願い致します。

現象	原因と対処方法
オイル漏れをしている。	交換時漏れ出たオイルが本体に伝わり、オイル漏れと見間違える場合がありますので、再度清掃してからご確認下さい。
エアー抜きが完了しない。 又は異音が発生する。	タイヤ接地状態で <u>油温が上昇するまでハンドルを左右に切り返し、エンジン停止後5分程放置して下さい。</u> それでも異音、エアーが止まらない場合は、車両側のオイルラインからエアーを吸っている可能性も考えられます。パイプ、ホースのつぶれ、亀裂、劣化等がないことをご確認下さい。
ハンドルを切ると異音が発生する。(1)	ハブベアリングに異常があると、ハンドル操作時に異音が発生する場合がありますので、ハブベアリングの点検をお願いします。
ハンドルを切ると異音が発生する。(2)	リザーブタンク内、オイルラインのスラッジ・汚れを確認し、汚れている場合はオイル交換、洗浄をお願いします。 オイルフィルター付き車両については、新品フィルターと交換して下さい。(図2参照)
	<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">大型・中型車：フィルター要交換</div>  <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">リザーブタンク内清掃</div> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">オイルラインの清掃</div>
交換後のハンドル操作感覚	長年使用された製品の場合、内部部品の摩耗により遊びが大きくなっており、その感覚の運転に慣れていると交換後はハンドルの遊びが小さく違和感を感じる場合がありますが、異常ではありません。